

普及活動情勢報告（令和2年11月分）

高吾農業改良普及所

ニラの灰かび対策や電照についておさらい！



11月6日、永野出荷場でJA高知県コスモスニラ生産部の月例会を開催しました。生産者16名の参加があり、コロナ対策のために屋外で行いました。

目慣らしをしたのちに、農業改良普及所から灰色かび病対策、アザミウマ対策、電照技術について指導しました。管内にはすでに灰色かび病が発生しているハウスがあるため、予防防除や適正な温湿度管理の重要性を説明しました。

生産者からは「灰色かび病対策としてローテーション散布を実施していきたい」といった声がありました。

今後は個別巡回により、指導内容の実施状況と病害虫の発生状況を把握し、高品質なニラを安定して出荷できるよう支援していきます。

経営分析でお金の悩みスッキリ！



10月28日に令和2年度第4回目の農業基礎講座を開催し、新規就農者3名の参加がありました。

農業改良普及所は「農業簿記の基礎知識」、「決算書・資金繰表の見方と経営分析」について講義を行いました。参加者からは「お金の流れを見える化することで不安を軽減できることがわかった」、「経営効率を上げるために夫婦で分析に取り組みたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及所では、今後も数値に強い担い手の育成をめざし支援をしていきます。

GoToトラベルで生活改善グループが伝統食のおもてなし



11月17日、18日の2日間、佐川町生活改善グループ員10名がGoToトラベル企画「みのりの台地・斗賀野盆地」ツアーの観光客24名を対象に佐川町の伝統食「きらずもち」づくりの体験指導を行いました。また、昼食では地域の農産物をふんだんに使った「斗賀野こだわり御前」を振る舞いました。

観光客から、「土佐人ならではの素晴らしいおもてなしだ」との声があり、大好評でした。

農業改良普及所では、こらからも生活改善グループによる伝承活動を支援していきます。

茶省力機械の実演会を開催



10月29日、仁淀川町で自走式茶園管理機の実演会と省力機械「やじろべえ」の紹介を行い、生産者8名の出席がありました。

まず、茶業試験場は自走式茶園管理機について、農業改良普及所は、茶の補助事業や台切り後の管理について、説明しました。その後、自走式茶園管理機の実演会を行い、茶業試験場からやじろべえについて紹介してもらいました。

生産者からは、「自走式茶園管理機を使いたくても使えるほ場を持ってない」、「やじろべえは軽くて良いが、摘採にも使えるのだろうか」といった声がありました。

今後も農業改良普及所は茶の生産振興のために、省力機械や栽培技術等について情報提供していきます。

イチゴ月例会が新しく始まりました！



JA佐川支所イチゴ部会は今年度から月例会を新設し、第1回が11月19日に開催され、生産者13名が参加しました。

農業改良普及所は月例会でのGAP点検支援や天敵・ミツバチに影響の少ない農薬の指導、担い手確保の取り組みについての現状報告を行いました。

生産者からは、「ホコリダニへの効果は?」、「気門封鎖系殺虫剤は効くか?」という声がありました。

今後も農業改良普及所は月例会の定期開催を支援し、栽培技術の向上や産地の担い手確保に取り組んでいきます。